

2015年度第3四半期の業績を発表

November 11, 2015

本資料は、米国アッヴィ社が2015年10月30日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、11月11日、皆様のご参考にご提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料（英文）については、www.abbvie.comをご覧ください。なお、本文中には日本未承認薬に関する情報が含まれています。

2015年度第3四半期の業績を発表

- 第3四半期の調整後EPSは1.13ドル（およそ27%増）で、前回発表した1.04ドル～1.06ドルの見通しを上回っている。GAAPのEPSは0.74ドル
- 第3四半期の調整後売上高は、前年同期比26.2%増（7.8%の為替レート変動によるマイナスの影響を除く）の59億4,400万ドル。調整前売上高は18.4%増
- 売上高の増加は、ヒュミラの全世界での調整後売上高の19.6%増（7.5%の為替レート変動によるマイナスの影響を除く）を反映している。ヒュミラの全世界での調整前売上高は12.1%増
- 第3四半期のIMBRUVICAの全世界での純売上高は3億400万ドル、そのうち米国内での売上高は2億6,700万ドル。第3四半期のVIEKIRAの全世界での売上高は4億6,900万ドル
- 調整後売上高営業利益率は44.9%に向上。調整後総利益率は83.3%に改善
- 2015年度の調整後EPS見通しは、4.26ドル～4.28ドル（GAAPのEPS見通しは、3.16ドル～3.18ドル）に上向き調整
- 020年度までの長期的財務目標および2016年度の堅調なEPS見通しを発表（別紙のプレスリリースを参照）

米国イリノイ州ノースシカゴ（2015年10月30日）－アッヴィ（NYSE：ABBV）は、2015年度第3四半期（9月30日終了）の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは次のように述べています。「第3四半期の業績および今年度のこれまでの事業の進捗はいずれも大変喜ばしいものとなりました。弊社は、販売、事業運営、そして研究開発を強力に推し進めていくことによって、売上の的にも収益的にも、業界随一の業績を達成することができました。2015年、さらにはそれ以降も堅実なEPS成長を実現するための体制は十分に整っており、弊社が長期にわたって最高の成長を達成するために必要な弊社のパイプラインやその他の戦略的アクションを前進させていくことにより、これからも進化を遂げていきます。」

第3四半期の業績

- 第3四半期における全世界での売上高は、前年比18.4%増の59億4,400万ドルでした。調整後売上高は、7.8%の為替レート変動によるマイナスの影響を除くと、26.2%増でした。
- 第3四半期における売上高が増加したのは、ヒュミラをはじめとする主力製品に関する堅調な業績が継続したためです。ヒュミラの世界的売上高は、調整後で19.6%増、為替レート変動による影響を含めると12.1%増でした。リウマチ、皮膚、消化器という三大市場カテゴリーの全てにおける継続的な大躍進に牽引され、米国内のヒュミラの売上高は30.4%という力強い成長を遂げています。第3四半期における米国外のヒュミラ売上高は、調整後で7.1%成長しており、前期に報告された成長率の約2倍となっています。今期の米国外におけるヒュミラの調整前売上高は、為替レート変動によるマイナスの影響により、16%減少しました。
- 第3四半期のIMBRUVICAの世界的な売上高は3億400万ドルで、そのうち米国内の売上高が2億6,700万ドル、米国外の収益配分が3,700万ドルです。
- 総売上高の増加に関しても、現在61カ国で承認され、2015年度から2016年度にかけて、さらなる承認を得られることが期待されているVIEKIRAの全世界での売上高が4億6,900万ドルを記録したことに加え、Duodopa、Creon、Lupronの力強い成長に牽引されました。
- 第3四半期における調整後売上総利益率は、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、83.3%でした。220ベースポイントの売上総利益の伸長は、製品の組み合わせ、業務効率および為替レートの影響に牽引されました。米国の一般会計原則（GAAP）に基づく売上総利益率は、80.4%でした。
- 第3四半期の売上高に占める調整後販売費および一般管理費（SG&A）の割合は、23.0%でした。売上高に占めるSG&Aの割合は、GAAPベースで24.8%でした。
- 第3四半期の売上高に占める調整後研究開発費（R&D）の割合は、中期および後期パイプラインへの投資を反映し、15.4%となりました。売上高に占める研究開発費の割合は、GAAPベースで23.8%でした。
- 第3四半期の調整後営業利益率は44.9%でした（前年同期は38.5%）。GAAPベースの営業利益率は、31.7%でした。
- 純支払利子は1億9,700万ドルで、これはPharmaceuticals社買収に関連して発行された債券による影響を反映するものです。第3四半期における調整後の税率は21.9%、GAAPベースで24.8%でした。
- 第3四半期の調整希薄化後1株当たり利益（EPS）は、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、およそ27%増の1.13ドルでした。希薄化後EPSは、GAAPベースで0.74ドルでした。
- 成長見通しや、売上高目標などの他の財務指標、営業利益目標、長期計画におけるEPSの成長など、長期的戦略目標および財務目標を発表しました。2016年度のEPS見通しも発表したほか、シカゴで開催される2016 ASCO会議にて包括的なR&Dパイプラインレビューを行うことを改めて発表しました（今朝発行された別紙のプレスリリースを参照）。

第3四半期の主な出来事

- 2015年11月13日～17日にサンフランシスコにて開催されるAmerican Association for the Study of Liver Diseases（米国肝臓病学会、AASLD）の年次大会（通称The Liver Meeting[®]）で発表予定の慢性C型肝炎の臨床開発プログラムに関するプレゼンテーションの34本の抄録が受理されました。アッヴィの次世代C型肝炎ウイルス（HCV）治療薬であるABT-493およびABT-530に関する新たな臨床試験の成果が発表される予定です。当該臨床試験は主に、治療期間を最短で8週間に短縮することが可能となり得る、すべての遺伝子型に対して有効な、ribavirin（RBV）非併用1日1回投与の治療オプションについて検討を行っているものです。プレゼンテーションでは、また、慢性腎疾患を伴うジェノタイプ1（GT1）型の患者さんと代償性肝硬変を伴うジェノタイプ1b（GT1b）型の患者さんを対象とした試験を含む、GT1型慢性C型肝炎ウイルスに感染した成人の患者さんを対象としたRBV併用/非併用でのアッヴィのVIEKIRA PAKTMの第IIIb相試験から得られた新たなデータを紹介します。
- 日本の厚生労働省（MHLW）はGT1型慢性HCV感染の成人の患者さん（代償性肝硬変を伴う患者さんを含む）に対する、新たな、インターフェロン非併用およびRBV非併用治療オプションとしてViekiraxを承認しました。Viekiraxは、2種の直接作用型抗ウイルス薬（paritaprevir/ritonavirとombitasvir）の固定用量の組み合わせから成り、1日1回、12週間投与します。日本は、先進国の中でもC型肝炎ウイルス感染率が高く、約150万～200万人のHCV患者さんが存在し、世界のHCV市場の中でも2番目に大きな市場となっています。

- アブヴィで開発された関節リウマチ（RA）の選択的JAK1阻害薬ABT-494の第II相試験から得られた結果は主要評価項目を満たしており、methotrexateやTNF阻害薬では十分に奏効しなかった患者さん（methotrexateではACR20改善率が最大82%とACR50改善率が最大50%、TNF阻害薬ではACR20改善率が最大73%とACR50改善率が最大44%）において、12週目にACR20の改善を達成しました。全体的に良好な安全性プロファイルを備えたベスト・イン・クラスの治療薬となる可能性を秘めた本薬について、2015年末までにABT-494の1日1回投与レジメンを、RAを対象とした第III相試験へと進める予定です。
- アブヴィは、子宮筋腫の患者さんを対象としたelagolixの有効性と安全性を検討する第IIb相試験にて素晴らしい結果を報告しました。6か月間の試験から得られた中間結果では、全てのelagolix投与群において複合的評価項目が満たされたことが示されました。2016年度の第1四半期までに第III相開発段階へと進める予定です。また、elagolixは、子宮内膜症の治療薬としても第III相開発段階にあります。
- アブヴィは、65歳以上の治療歴のない慢性リンパ性白血病（CLL）の患者さんを対象としてIMBRUVICAと従来の化学療法であるchlorambucilの有効性と安全性を比較評価した第III相RESONATETM-2試験から得られた結果を基に適応追加申請（sNDA）を米国食品医薬品局（FDA）に申請したことを発表しました。RESONATE試験（PCYC-1112）では、治療歴のないCLLの患者さんにIMBRUVICAを投与した場合、無増悪生存期間（主要評価項目）を延長させ、さらに、全生存率および奏効率など複数の副次的評価項目を改善したことが明らかとなっています。これらのデータは論文審査のある医学専門誌への投稿に向けて提出されており、今後の医学学会にて発表される予定です。
- アブヴィが現在開発中のvenetoclax（ABT-199）の第II相試験では、17p欠失の遺伝子突然変異を伴う再発性/難治性のCLLまたは治療歴のないCLLの患者さんにおいて、奏効率が達成され、主要評価項目が満たされました。現在これらのデータはFDAの審査を受けており、年内に欧州薬品庁（EMA）に提出される予定です。また、試験の全結果は、今後の医学学会にて発表される予定です。
- アブヴィは、ヒュミラ（adalimumab）が成人における中等度から重度の化膿性汗腺炎（HS）を適応としてFDAおよび欧州委員会（EC）から承認を受けたことを発表しました。ヒュミラは米国および欧州における、痛みの強い慢性炎症性皮膚疾患を患う患者さんのための、初めてかつ唯一の承認薬です。全世界では成人人口の約1%、米国内では最大20万人のHSの患者さんが存在します。
- FDAは、再発性/難治性の多発性骨髄腫の患者さんに対する研究段階の治療薬として、elotuzumabの生物学的製剤承認申請（BLA）の優先審査を許可しました。Elotuzumabは過去にFDAからブレイクスルーセラピーの指定を受けており、またEMAによってEUにおける迅速審査が認められています。これらの承認申請は、lenalidomideおよびdexamethasone併用下のelotuzumab投与によって疾患進行が30%減少したことが示されているELOQUENT-2試験の結果に基づいています。
- 今期、FDAは米国における成人でのジェノタイプ4（GT4）型HCVを適応として、RBV併用でのアブヴィのTECHNIVIETMを承認しました。TECHNIVIEは、GT4型慢性HCV感染成人患者さんのための米国で初めて承認された唯一の、インターフェロンを併用しない経口薬のみによる直接作用型抗ウイルス薬です。

2015年度通年の見通しの引き上げ

アブヴィは2015年度の通年の調整希薄化後EPSの見通しを4.26ドル〜4.28ドルに引き上げました。2015年度の調整希薄化後EPSの見通しには、1株当たり1.10ドルの無形資産の償却費、取引費用、統合およびその他の特定項目は含まれていませんが、Pharmacyclics社買収に関連した希薄化分0.20ドルは含まれています。アブヴィのGAAPベースの希薄化後EPSの見通しは3.16ドル〜3.18ドルです。

アブヴィについて

アブヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された、研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。専門知識や献身的な社員・イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患領域における先進的な治療薬を開発・提供することをミッションに掲げています。アブヴィは、100%子会社のファーマサイクリクス社を含めて世界で28,000人以上を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要や人材・製品群・コミットメントに関する詳細はwww.abbvie.comをご覧ください。よろしければTwitterアカウント@Abbvieもフォローください。また、人材情報はFacebookやLinkedInページをご参照ください。

投資家向け電話会議

アブヴィの主催により、本日午前8:00（中部時間）に投資家のみなさまを対象とした電話会議を開催いたします。会議では第3四半期の業績について説明します。会議の参加者はRick Gonzalez（Chairman/CEO）、Bill Chase（executive vice president/CFO）、Laura Schumacher（executive vice president/business development, external affairs and general counsel）、Mike Severino（executive vice president/research and development/chief scientific officer）及びLarry Peepo（vice president/investor relations）です。電話会議はアブヴィの投資家向けウェブサイト（www.abbvieinvestor.com）上でインターネット配信されます。電話会議のアーカイブは、午前11:00（中部時間）から閲覧可能となります。

非GAAPの業績

2014年度および2015年度の業績に関して、調整前（GAAP）および調整後（非GAAP）の両方で提示しています。調整前の業績はGAAPに従って作成したもので、同期間に計上されたすべての売上高と費用を含んでいます。非GAAPの業績は、特定の非現金項目と予測不能な臨時的要因について調整を行ったもので、それらの費用、支出およびその他の特定項目（以下に掲載する調整表に記載）を除外しています。アブヴィの経営陣は、非GAAPの財務指標はアブヴィの業績に関する有用な情報を投資家に提供し、経営陣、アナリストおよび投資家が業績を評価する際に役立つと考えています。非GAAPの財務指標はGAAPに従って作成される財務指標を補足するものであり、これに代わるものではありません。また、当社の2015年度財務見通しに関しても、調整前と非GAAPベースの両方で提示しています。

今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、Private Securities Litigation Reform Act of 1995（1995年米国私募証券訴訟改革法）に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威および他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入及び業界に関連する法律および規制の変更などがあります。アブヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある

経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission（米国証券取引委員会）に提出済みのアッヴィの2014年度アニュアルレポート（10-K書式）の1A項「リスク要因」および2015年度第2四半期レポート（10-Q書式）Part 2の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。

アッヴィ

主要製品の売上高

第3四半期（2015年9月30日終了）

（未監査）

	前年同期比							
	純収益（単位：100万米ドル）			米国外			合計	
	米国	米国外	合計	米国	調整後	調整前	調整後	調整前
純収益	\$3,690	\$2,254	\$5,944	31.4%	19.5%	2.0%	26.2%	18.4%
Humira	2,268	1,379	3,647	30.4	7.1	(8.9)	19.6	12.1
Imbruvica	267	37 ^a	304	n/m	n/m	n/m	n/m	n/m
Viekira	242	227	469	n/m	n/m	n/m	n/m	n/m
Creon	161	--	161	8.3	n/a	n/a	8.3	8.3
Synagis	--	93	93	n/a	(1.2)	(14.6)	(1.2)	(14.6)
Lupron	158	43	201	7.8	6.2	(13.8)	7.4	2.4
Synthroid	188	--	188	(5.4)	n/a	n/a	(5.4)	(5.4)
Kaletra	39	129	168	(27.1)	(18.8)	(36.3)	(20.6)	(34.4)
AndroGel	177	--	177	(23.6)	n/a	n/a	(23.6)	(23.6)
Sevoflurane	21	101	122	4.5	1.4	(11.3)	1.8	(9.0)
Duodopa	3	58	61	n/m	21.6	2.3	28.7	9.4

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

n/m = 無意味

a Imbruvicaの米国外の売上高に関する利益分配が反映されています。

アツヴィ
 主要製品の売上高
 9か月（2015年9月30日終了）
 （未監査）

	前年同期比							
	純収益（単位：100万米ドル）			米国	米国外		合計	
	米国	米国外	合計		調整後	調整前	調整後	調整前
純収益	\$9,710	\$6,749	\$16,459	26.4%	15.4%	(1.1%)	21.2%	13.4%
Humira	6,073	4,222	10,295	32.2	8.3	(8.0)	20.3	12.2
Imbruvica	364	47 ^a	411 ^b	n/m	n/m	n/m	n/m	n/m
Viekira	607	478	1,085	n/m	n/m	n/m	n/m	n/m
Creon	447	--	447	22.3	n/a	n/a	22.3	22.3
Synagis	--	474	474	n/a	1.5	(11.7)	1.5	(11.7)
Lupron	464	127	591	10.5	(2.7)	(16.3)	7.0	3.4
Synthroid	561	--	561	7.4	n/a	n/a	7.4	7.4
Kaletra	123	392	515	(24.4)	(8.2)	(22.3)	(12.1)	(22.8)
AndroGel	500	--	500	(29.0)	n/a	n/a	(29.0)	(29.0)
Sevoflurane	59	307	366	(4.0)	(4.9)	(16.6)	(4.7)	(14.8)
Duodopa	6	163	169	n/m	19.3	(0.8)	23.2	3.1

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。

n/a = 該当なし

n/m = 無意味

a Imbruvicaの米国外の収益に関する利益分配を反映しています。

b 5月26日に完了したPharmacyclics社買収によるImbruvicaの収益が反映されています。

アツヴィ

連結損益計算書

第3四半期および9か月（2014および2015年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

	第3四半期 (9月30日終了)		9か月 (9月30日終了)	
	2015	2014	2015	2014
純収益	\$5,944	\$5,019	\$16,459	\$14,508
売上原価	1,167	1,094	3,025	3,307
販売費および一般管理費	1,474	1,595	4,650	4,383
研究開発費	1,418	812	3,210	2,418
外部調達による仕掛研究開発費	--	308	150	324
その他費用	--	250	--	250
営業経費合計	4,059	4,059	11,035	10,682
営業利益	1,885	960	5,424	3,826
支払利子（正味）	197	128	487	262
正味為替差損	13	174	191	182
その他（利益）費用（正味）	28	(29)	25	(24)
法人税控除前利益	1,647	687	4,721	3,406
法人税等	408	181	1,094	822
純利益	\$1,239	\$506	\$3,627	\$2,584
希薄化後EPS	\$0.74	\$0.31	\$2.21	\$1.60
希薄化後EPS（特定項目を除く）	\$1.13	\$0.89	\$3.16	\$2.43 ^{a)}
平均希薄化後発行済株式数	1,664	1,610	1,635	1,609

a) 詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第3四半期（2015年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2015年度第3四半期		
	純利益		希薄化後EPS
	税引前	税引後	
調整前（GAAP）	\$1,647	\$1,239	\$0.74
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	125	94	0.05
分社化費用	45	39	0.02
Pharmacyclics社との取引およびその他の費用	120	85	0.05
目標達成報奨金およびその他の研究開発費	480	433	0.27
その他	12	9	0.00
調整後（非GAAP）	\$2,429	\$1,899	\$1.13

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。Pharmacyclics社との取引およびその他の費用は、取引、融資、統合およびPharmacyclics社の買収に関連するその他の費用を反映しています。目標達成報奨金およびその他の研究開発費は、過去に発表した業務提携に対する目標達成報奨金およびサードパーティーから購入したFDA優先審査パウチャーの購入に関連しています。その他は主に、事業再編活動に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2015年度第3四半期		
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費
調整前（GAAP）	\$1,167	\$1,474	\$1,418
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	(125)	--	--
分社化費用	--	(45)	--
Pharmacyclics社との取引およびその他の費用	(45)	(57)	(18)
目標達成報奨金およびその他の研究開発費		--	(480)
その他	(6)	(2)	(4)
調整後（非GAAP）	\$991	\$1,370	\$916

3. 以下に詳細を示すとおり、2015年度第3四半期の調整後税率は21.9%でした。

	2015年度第3四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$1,647	\$408	24.8%
特定項目	782	122	15.6%
調整後 (非GAAP)	\$2,429	\$530	21.9%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第3四半期（2014年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2014年度第3四半期		
	純利益		希薄化後EPS
	税引前	税引後	
調整前（GAAP）	\$687	\$506	\$0.31
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	98	70	0.04
分社化費用	109	98	0.06
外部調達による仕掛研究開発費	308	206	0.13
Calico社との提携費用	250	250	0.15
Shire社取引費用	276	172	0.11
その他	139	147	0.09
調整後（非GAAP）	\$1,867	\$1,449	\$0.89

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。外部調達による仕掛研究開発費は、主に過去に発表したInfinity社との提携に関連する前払い金を反映しています。Calico社との提携費用は、過去に発表したCalico社との提携に関連する前払い金を反映しています。Shire社取引費用は、終了したShire社との取引に関連するものです。その他の特定項目は、主に新たなIRS規制によって定められた追加1年分のブランド医薬品の処方料に関連します。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2014年度第3四半期						
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	正味為替差損	支払利子（利益）	その他（利益）費用
調整前（GAAP）	\$1,094	\$1,595	\$812	\$308	\$174	\$128	\$221
特定項目を調整：							
無形固定資産の償却	(98)	--	--	--	--	--	--
分社化費用	(4)	(104)	(1)	--	--	--	--
外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(308)	--	--	--
Calico社との提携費用	--	--	--	--	--	--	(250)
Shire社取引費用	--	(36)	--	--	(165)	(75)	--
その他	(44)	(129)	--	--	--	--	34
調整後（非GAAP）	\$948	\$1,326	\$811	--	\$9	\$53	\$5

3. 以下に詳細を示すとおり、2014年度第3四半期の調整後税率は22.4%でした。

	2014年度第3四半期		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$687	\$181	26.3%
特定項目	1,180	237	20.1%
調整後 (非GAAP)	\$1,867	\$418	22.4%

アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

9カ月（2015年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2015年度9カ月		
	純利益		希薄化後EPS
	税引前	税引後	
調整前（GAAP）	\$4,721	\$3,627	\$2.21
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	279	212	0.13
分社化費用	244	208	0.12
Pharmacyclics社との取引およびその他の費用	540	342	0.20
目標達成報奨金およびその他の研究開発費	480	433	0.27
外部調達による仕掛研究開発費	150	150	0.10
Shire社提携解消費用	170	170	0.10
その他	80	57	0.03
調整後（非GAAP）	\$6,664	\$5,199	\$3.16

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アツヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。Pharmacyclics社との取引費用およびその他の費用は、取引、融資、統合、およびPharmacyclicsの買収に関連するその他の費用を反映しています。目標達成報奨金およびその他の研究開発費は、過去に発表した業務提携に対する目標達成報奨金およびサードパーティーから購入したFDA優先審査パウチャーの購入に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は主にC₂Nとの提携を反映しています。Shire社提携解消費用は、2014年度第4四半期で発表した通り、終了したShire社との取引に関連する、残りの外貨ポジションの精算完了を反映しています。その他は主に、事業再編活動に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2015年度9カ月					
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	支払利子	外国為替差損益
調整前（GAAP）	\$3,025	\$4,650	\$3,210	\$150	\$487	\$191
特定項目を調整：						
無形固定資産の償却	(279)	--	--	--	--	--
分社化費用	(5)	(239)	--	--	--	--
Pharmacyclics社との取引およびその他の費用	(64)	(279)	(111)	--	(86)	--
目標達成報奨金およびその他の研究開発費	--	--	(480)	--	--	--
外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(150)	--	--
Shire社提携解消費用	--	--	--	--	--	(170)
その他	(18)	(42)	(20)	--	--	--
調整後（非GAAP）	\$2,659	\$4,090	\$2,599	--	\$401	\$21

3. 以下に詳細を示すとおり、2015年度始めから9カ月間の調整後税率は22.0%でした。

	2015年度9カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$4,721	\$1,094	23.2%
特定項目	1,943	371	19.1%
調整後 (非GAAP)	\$6,664	\$1,465	22.0%

アツヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

9か月（2014年9月30日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2014年度9か月		
	純利益		希薄化後EPS
	税引前	税引後	
調整前（GAAP）	\$3,406	\$2,584	\$1.60
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	307	218	0.14
分社化費用	299	282	0.17
目標達成報奨金およびその他の研究開発費	40	40	0.03
外部調達による仕掛研究開発費	324	222	0.14
Calico社との提携費用	250	250	0.15
Shire社取引費用	283	179	0.11
その他	148	154	0.09
調整後（非GAAP）	\$5,057	\$3,929	\$2.43

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アツヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。目標達成報奨金およびその他の研究開発費は、過去に発表した業務提携に関連しています。外部調達による仕掛研究開発費は、過去に発表した提携に関連する前払い金を反映しています。Calico社との提携費用は、先頃発表したCalico社との提携に関連する前払い金を反映しています。Shire社取引費用は、終了したShire社との取引に関連するものです。その他の特定項目は、事業再編成活動および、新たなIRS規制によって定められた追加1年分のブランド医薬品の処方料に関連します。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2014年度9か月						
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	正味為替差損	支払利子（利益）	その他（利益）費用
調整前（GAAP）	\$3,307	\$4,383	\$2,418	\$324	\$182	\$262	\$226
特定項目を調整：							
無形固定資産の償却	(307)	--	--	--	--	--	--
分社化費用	(10)	(286)	(3)	--	--	--	--
目標達成報奨金およびその他の研究開発費	--	--	(40)	--	--	--	--
外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(324)	--	--	--
Calico社との提携費用	--	--	--	--	--	--	(250)
Shire社取引費用	--	(43)	--	--	(165)	(75)	--
その他	(51)	(131)	--	--	--	--	34
調整後（非GAAP）	\$2,939	\$3,923	\$2,375	--	\$17	\$187	\$10

3. 以下に詳細を示すとおり、2014年度始めから9カ月間の調整後税率は22.3%でした。

	2014年度9カ月		
	法人税控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$3,406	\$822	24.1%
特定項目	1,651	306	18.5%
調整後 (非GAAP)	\$5,057	\$1,128	22.3%